



登別市立鷺別中学校 学校便り

【鷺別中学校区が目指す15歳の子ども像】

『受け入れ合い 支え合い 高め合う生徒』

～互いの考えや意見を尊重した発言・行動を目指して～

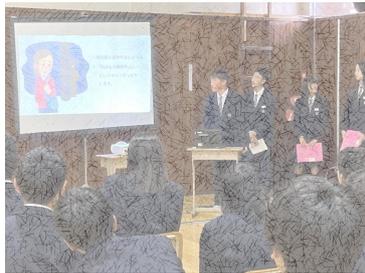
【鷺別中学校が育成を目指す資質・能力】

「表明力」「挑戦心」「協働性」

令和6年11月25日発行 第9号

地域と連携した教育活動の充実
～ふるさと学習・キャリア学習の取組を通して～

10月に1年生が、ふるさと学習の取組として、ウポポイ（民族共生象徴空間）での体験学習で学んだことをまとめた発表会を行いました。こ



この日は、ふれあいDay（フリー参観日）でもありましたので、生徒たちの工夫したプレゼンテーションを多くの保護者や地域の方にも参観いただきました。11月には同じく1年生が、今度は日本工学院北海道専門学校の小川昌宏先生（本校元PTA会長）を講師としてお招きし、「キャリア教育の一環を踏まえた進路選択について」をテーマとした講演会を実施しました。生徒たちは、「どうして人は働くのか？」という問いから、「働く意義」について考えを深める貴重な時間となりました。12月には2年生が、逆に日本工学院を訪問し、IT・CGデザイナー・建築・ホテル・自動車整備の5つの学科に分かれて、専門的な授業を体験する予定となっています。

これらの地域と連携した教育活動は、問題解決能力や社会性を育みます。さらに、地域資源を生かした体験学習や地域の専門家を招いた授業により、生徒の興味・関心や学習効果を高めることにつながります。また、キャリア教育では、「何になりたいか」だけでなく、「どう生きたいか」「どのように社会に貢献できるか」という深い視点で、将来を考える姿勢が身に付きます。本校では、引き続き、地域と連携した教育活動を充実させながら、生徒たちの資質・能力を高めていくことに努めてまいりますので、保護者・地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

（校長 横山 康彦）

令和6年度 全国学力・学習状況調査

～結果からわかる本校の課題等について③～

今回は、質問紙調査の「自己肯定感」「いじめ・SOS」など、生徒指導に関わる結果についてお知らせします。学校では、学習指導と同様に「個性の発見とよさや可能性の伸長」を図る重要な機能を果たす項目です。本調査は、3年生を対象に行ったものですが、他の学年においても同様の傾向が伺えます。特に、保護者の皆さんと共有したい項目は、次の4つです。

- ①「自分には、よいところがある」
本校 50.0% 全国 40.4% 全国比+9.6P
- ②「先生は、よいところを認めてくれている」
本校 71.1% 全国 44.2% 全国比+26.9P
- ③「いじめはどんな理由があってもいけない」
本校 86.8% 全国 77.5% 全国比+9.3P
- ④「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」
本校 39.5% 全国 28.7% 全国比+10.8P

いずれも全国平均より、おおよそ10～20P以上、上回る良好な結果となっています。上記の項目以外でも、「将来の夢や目標を持っている」「友達関係に満足している」「人が困っているとき進んで助けている」など、多くの項目で全国の中中学生より意識が高いことがわかりました。

①②については、引き続き、「鷺中生徒のよさや可能性を最大限に引き出す学校づくり」を念頭に、全教育活動を通じて、自己有用感を高める取組に努めてまいります。③については、生徒会活動等、生徒の自主的な取組も充実させながら、いじめに対する意識をより高めていく必要があります。④についても、この数値に満足することなく、生徒自身が心の危機に気づき、身近な信頼できる大人に安心してSOSを出すことのできる環境の整備に努めてまいります。

学校便り9月号から3回にわたって、全国学力・学習状況調査の結果からわかる鷺中生徒の状況についてお知らせしてきました。よさは、より一層育みながら、明らかになった課題については、改善に努めてまいりますので、今後とも、学校との連携と家庭での生徒の見守りをよろしくお願いいたします。

新入生体験入学1回目 10.23-24



中学生からの発表



若草小・鷺別小の6年生が中学校へ来て、実際に授業を見学したり、学校生活に係る内容の説明を聴きました。1年生の■■■さん、■■■さんからも小学生へ、直接体験談を話してもらいました。小学生からの質問に、先輩らしく丁寧に答えていました。

1年生親子レク 10.25



PTA委員の皆様のお力添えで、ミニバレーボール大会が行われました。生徒にとって、中学での初めての親子レクになり、とても楽しく、和やかな時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

校内授業研究 10.28



1年生理科↑
3年生体育↓



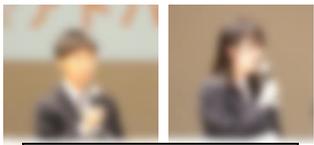
本校では、全教員が互いに授業を見合う研修を設定し、自分の意見を伝えたり、他の人の意見について考えることを楽しいと捉えたりする授業づくりに取り組んでいます。生徒たちは、授業で出された課題に対し、班の中で、考えを伝えたり、交流したりしながら、課題を解決しようと頑張っていました。

鷺別海岸ボランティア清掃 11.8



生徒会が中心になり、全校生徒にボランティア活動と呼び掛けたところ、ボランティア部を含め、33名の生徒が参加し活動することができました。自分たちが住む地域を大切にしようとして一生懸命清掃活動を行いました。

鬼っ子フォーラム 11.15



意見を発表している様子

本校を代表して■■■さんと■■■さんの2人が参加してきました。事前のワークショップなどの準備を通して、今年度の『鬼っ子宣言』が発表されました。その後「みんなが通いたくなる学校とは」をテーマに市内小中高の代表が意見を交わし、各学校で、実践していくことを確認しました。

文化面の入賞 秋 文化の季節・鷺中生活躍しています！

【国語科】

第43回全国中学生人権作文コンテスト

札幌地方大会 優秀賞（札幌コンサドーレ札幌賞）

「人権侵害とは」■■■さん

小・中学生の読書感想文コンクール

入選「コーヒーが冷めないうちに」を読んで■■■さん

入選「カラフル」■■■さん

第52回中学生作文コンクール

優秀賞「15年後の自分」■■■さん

優秀賞「35年後の自分」■■■さん

優秀賞「2034年の私」■■■さん

【つばさ学級】

登別市環境(エコ)をテーマにした作品コンクール

金賞 作品名 「環境ジグソーパズル」

制作メンバー ■■■さん・■■■さん

■■■さん・■■■さん

■■■さん

【美術部】

登別市男女共同参画社会ポスターコンクール

最優秀賞「男女ともに自分らしく輝く時代」■■■さん

優秀賞「あなたらしくを大切に」■■■さん

入賞「男女が自由に生きられる社会へ」■■■さん

入賞「人間性を認め合う」■■■さん

悩みのある時・相談窓口があります

～相談したいけど、相談しづらい、そんな時～

○登別市の専門相談員が応じます。 85-0085

メールアドレス：tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp

○子ども相談支援センター 0120-3882-56

○24時間子供SOSダイヤル(毎日24時間対応)

0120-0-78310

○北海道いのちの電話 011-231-4343

○こころの電話相談(北海道立精神保健福祉センター)

平日9:00-21:00 土日10:00-16:00

0570-064-556

豊かな人間性を育む活動

11月は、「北海道心の教育推進キャンペーン強調月間」です。本校でも「登別市鬼っ子フォーラム」へ向けた取組「鷺別海岸のボランティア清掃活動」「挨拶運動」などに取り組んでいます。



心の教育推進キャンペーン

保護者の方へのお願い

敷地内校舎前は、小・中学生の登下校の歩行等に危険なため、一般車両の通り抜けの禁止看板を設置しています。正面玄関前の駐停車や車両の通り抜けをしないようお願いします。(冬場は特に危険です)